

## 産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山工業 高等学校
実践場面	企業の新入社員向け「機械製図の基礎講座」
実践日時（時期）	令和6年5月21日（火）
対象生徒（学年）	（工業科の教員5人）
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（津山ステンレス・メタルクラスター（日頃の取組等での繋がり））
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他

### 実践の内容

#### 【現状】

- ・作州地域の金属加工、機械製造業者などをつくる「津山ステンレス・メタルクラスター（事務局：つやま産業支援センター）」とは、生徒が会員企業へ就職する進路での繋がりその他、近年は企業説明会や生徒への技術指導など様々な連携を行っている。
- ・「津山ステンレス・メタルクラスター」会員企業では、少子化で人材確保が課題となる中、工業系学校以外の出身者を採用する傾向が高まっており、そのような新入社員の社員教育が新たな課題となっている。
- ・学習指導要領においても、地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動などを積極的に取り入れることが示されており、地域や産業界等との連携関係を確立するためには、学校の教育力を地域に還元する努力も重要である。
- ・学校運営協議会で、学校が地域企業と連携することの重要性について協議し、地域と連携する取組を推進することを決定した。



#### 【実践内容】

- ・学校運営協議会で意見を承ったテーマ「学校と地域企業との連携」に沿った活動の一つとして、「津山ステンレス・メタルクラスター」と連携して、工業系学校を卒業していない新入社員を対象にした講座を、津山市役所東庁舎で開いた。（同講座は令和5年度開催に次いで2回目の開催）
- ・津山工業高校の教員5人が、5社16人に対して「機械製図の基本」を教えた。
- ・教員は、高校の授業で使用する教材をもとに、図面の文字や記号の意味、寸法の記入方法などを解説し、新入社員は正面、平面、側面の3種類の図から立体的な投影図を描き出す演習にも取り組み、教員から図面の読み取り方についてアドバイスを受けた。
- ・参加した新入社員からは、「商業高校出身で事務職だが、図面を見る機会もある。学んだことを今後の業務に生かしたい」といった感想があった。



### 実践による効果等

- ・学校の教育力を地域産業の発展のために還元することができた。
- ・この連携をもとに、地域の産業界との繋がりがより深まり、今後の連携した生徒の学習活動等へ発展させていくことが期待される。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）